

全風連だより

第2号

～全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会～



『民俗芸能「風流」』パンフレット表紙

ふりゅうおどり

風流踊とは

「風流踊」は、華やかな、人目を惹く、という「風流」の精神を体現し、衣裳や持ちものなどに趣向をこらし、歌や、笛・太鼓・鉦などの囃子に合わせて賑やかに踊る民俗芸能です。

地域の歴史や風土に応じ、広く親しまれている盆踊をはじめ、念仏踊や太鼓踊など、様々な姿で传承されており、そこに込められた願いも除災や死者供養、豊作祈願、雨乞いなど多様ですが、安寧な暮らしを願う地域共同体によって囃し、踊られ、今日に継承されてきました。

風流踊には、地域の人々が世代を超えて関わっています。地域全体で传承してきたことから、風流踊は地域社会の核ともなる役割を果たしてきました。特に災害の多い日本では、被災地域の復興の精神的な基盤ともなるなど、文化的な意味だけでなく、社会的な機能も有しています。

会長挨拶

令和2年度は、風流のみならず、すべての民俗芸能にとって困難な年となりました。4月には緊急事態宣言が出され、多くの人々が密集する可能性がある行事は、中止や変更を余儀なくされました。

民俗芸能の中でも多くの人々が集まる形態である「風流」においても、その状況は顕著に現れました。それを受け、このような状況下で全風連において何ができるかを考え、まずは現状把握と情報共有を図ることを目的とし、アンケート調査を行ったところでございます。全風連といたしましては、文化庁や関係諸機関と連携しながら、全国の保存団体・自治体の皆様と情報共有を図り、この難局を乗り越えるための一助となりますよう、活動してまいりたいと思います。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会 会長 白川正樹(佐文綾子踊保存会長)

令和2年度活動

総会（書面表決）

本連合会の総会を5月に東京都で開催する予定で計画を進めていましたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止に鑑み、書面によるご審議に代えさせていただきます。

議案といたしました「2019年度事業報告」、「2019年度決算報告」「令和2年度活動方針(案)及び事業計画(案)」、「令和2年度会計予算(案)」について、すべて可決されました。ご協力ありがとうございました。また、会員の皆様からは、未加入団体への加入の呼びかけを行うべき、とのご意見をいただきました。未加入の団体については、できるだけ多くの団体に加盟して頂けるよう、文化庁・都府県・市町村のご協力をいただきながら、引き続き加入を呼びかけてまいります。

令和2年度 活動方針

1. 民俗芸能「風流」の保存継承においては、後継者の減少や高齢化が急激に進展しており、今後保存継承が困難になることから保存会同志が交流を通じて、課題の改善を図る。
2. 民俗芸能「風流」の保存・活用を図るため、調査研究を推進する。
3. 「風流踊」のユネスコ無形文化遺産登録に向けた更なる取り組みをおこなう。

本年度の活動

本年度の活動としては下記のとおりです。

- ・『民俗芸能「風流」』パンフレット原案作成
会員の皆様のご協力をいただき、風流踊のパンフレットを作成し、デジタルデータで配布いたしました。
次年度以降、新規加入団体の追加などの修正を加え、2022年に予定されている、ユネスコ無形文化遺産登録時に印刷し、各会員様へお届けする予定です。
- ・「第35回 国民文化祭 風流ごかせフェスタ」（宮崎県五ヶ瀬町）への協力
新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、令和3年度に延期となりました。
- ・広報誌『全風連だより』第2号を作成し、デジタルデータで配布（本誌）
- ・民俗芸能「風流」令和2年度の公開状況についての調査

ユネスコ無形文化遺産登録に向けた動き

おかげ様をもちまして、令和2年3月末、「風流踊」として、ユネスコ無形文化遺産への提案書が我が国からユネスコ事務局に提出され、さらに令和3年3月末に再提出されました。

ユネスコ無形文化遺産登録に向け大きく前進することができましたのは、正会員・特別会員の皆様の、ご理解ご協力の賜物と大変深く感謝いたしております。誠にありがとうございました。

今後の予定としては、令和4年10月頃に評価機関による勧告、令和4年11月頃に政府間委員会において審議・決定の予定となっております。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

特集 コロナと風流

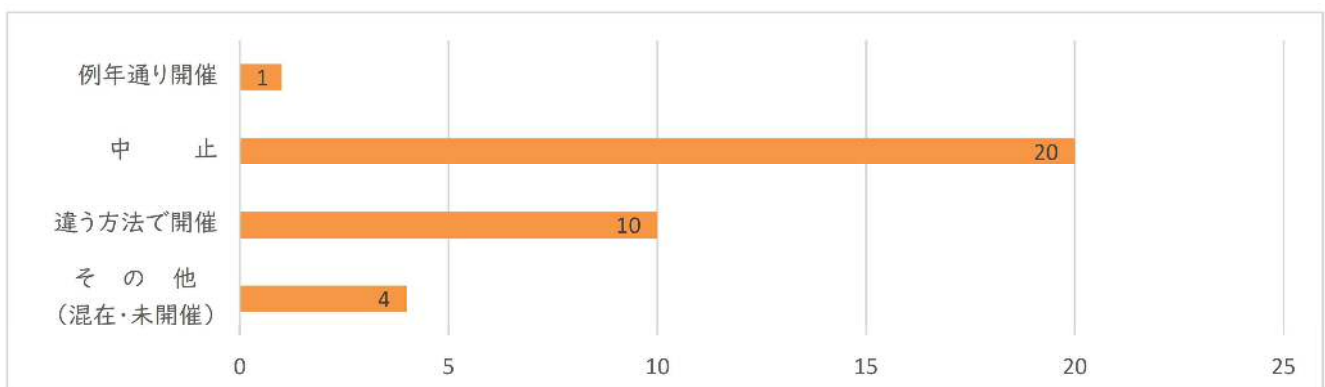
「民俗芸能「風流」令和2年度の公開状況についての調査」

本年度、新型コロナウイルス感染拡大の中、「民俗芸能「風流」令和2年度の公開状況についての調査」を実施いたしました。ご協力いただき誠にありがとうございました。

調査結果によると拡大防止の観点から、やむなく中止された民俗芸能が多くございました。しかしながら、感染対策を行い少人数で開催された事例や、無観客での開催を動画配信された事例など、多くの創意工夫をされており、これからの公開方法を検討する上で大変参考になりました。一部の取組をご紹介します。

- ・屋外で実施するのが通例であることから、3密を避けながら実施。
- ・無観客とし、インターネットを利用して動画配信を実施。
- ・会場での踊りは中止とし、感染防止対策及び交通安全対策をした上で、町内を踊り流す方式で実施。
- ・規模縮小、少人数、時間短縮して実施。
- ・資料館で芸能に関する資料紹介展示を開催。
- ・密を避けるため広い会場へ変更し、来場者の検温、アンケート記入、リストバンド装着等の対策を行い実施。

※調査結果の詳細につきましては、関係市町村へ一覧表をお送りしております。情報共有の一助となれば幸いです。



全国民俗芸能「風流」保存・振興連合会 令和2年度公開状況(35芸能)

コラム 「コロナ禍だからこそその発信を」

昨年来の新型コロナ禍で、多くの風流踊が中止を余儀なくされたと聞きます。先行きに不安を感じている団体も、多いことでしょう。もともと風流踊の多くは、疫病退散を願って行われてきたはずですが、そうした祈りの心すら否定するような風潮が高まっています。もちろん、集団で踊ることの感染リスクは、十分に考える必要はあります。それでも、長い歴史の中で育まれてきた疫病退散の願いや、踊ることのでられる地域社会の結束力までもが、否定されるべきではないはずです。ですから「やるかやらないか」ではなく、「何ができるのか」から考えてみてはどうでしょうか。ある民俗芸能の保存会では、皆で話し合っガイドラインを定めました。ある保存会では、秘密裏に無観客で踊ってそれを映像で発信しました。練習をリモートでやってみた団体もあります。クラウドファンディングを試したり、遠く離れた地方と中継をつないでオンラインイベントを開催した試みもあります。

なにも、新しい試みでなくてもいいのです。皆が前向きになれるような、そういう取り組みを考えてみませんか。もし困ったときには、全国に連合会の仲間もいるのですから。

独立行政法人国立文化財機構東京文化財研究所 無形民俗文化財研究室長 久保田裕道

令和2年 民俗芸能「風流」新指定重要無形民俗文化財のご紹介

近江湖南のサンヤレ踊り(草津のサンヤレ踊り保存協議会・小杖祭り保存会)



サンヤレ踊りは、中世後期に都で流行した疫神払いの風流囃子物の姿を今に伝えるものです。美しく装った子どもたちが、太鼓や鞆鼓、ササラなどの楽器を持って踊り、笹や神、扇子などの採物を持った者がこれを取り囲んで「サンヤレ サンヤレ」と囃し歌うことが特徴です。滋賀県の南部、草津市の矢倉、下笠、片岡、長束、志那、吉田、志那中の7地域(草津のサンヤレ踊り保存協議会)と栗東市下戸山の小槻大社周辺地域の氏子(小杖祭り保存会)が、5月3日もしくは5日、各地域の氏神や地区各所を巡行して踊りを奉納していきます。

近江のケンケト祭り長刀振り(近江のケンケト祭り長刀振り連合保存会)



ケンケト祭り長刀振りは、中世後期に都で流行した疫神払いの風流囃子物が近江に伝来し、各地の祭礼芸能として継承されてきたものです。華やかに装った子どもや青年が主役となり、鉦、ササラ、鞆鼓などの楽器を奏しながらの踊りと、長刀や棒を振る踊りが隊列を組んで巡行します。踊り子一人ずつ、長刀を頭上で回す、両手で持った長刀の上を飛び越えるなどの演技を披露する地域もあります。神幸行列に「花」や「鷲」という鉦が付随することも特色の一つです。滋賀県の南部、守山市杉江の小津神社と周辺の地域、守山市幸津川の下新川神社、滋賀県東部の甲賀市土山町前野の瀧樹神社と周辺地域、竜王町山之上の杉之木神社と周辺地域、東近江市蒲生町高木神社などの氏子地域で継承されており、5月3日もしくは5日などの春祭りにおいて踊りが奉納されます。

感応楽(豊前感応楽保存会)



感応楽は、豊前市大字四郎丸に鎮座する大富神社の神幸祭(春季大祭)において、隔年で奉納される楽打です。豊作祈願、雨乞いなどを目的とし、4月30日には神輿巡幸に伴い、大富神社及び同神社の住吉お旅所で奉納されるほか、翌5月1日は、四郎丸地区内の神社10か所を1日がかかりで巡り、最後に大富神社に戻って奉納されます。感応楽の名称は、楽を打って天地を感応させることから、天地感応楽、また豊前国を代表する楽として国楽とも呼ばれます。中楽、団扇使い、大団扇使い、読み立て、水取り、側楽、囃子(笛、鉦)で構成され、舞の中心となるのは、約10kgもの締太鼓打つ中楽6人と、角団扇をもつ団扇使い2人です。中楽は、白の大幣を中心に据えて円陣を組み、片手のバチを高く掲げながら片足立ちで向きを変えたり、体を振り、天を振り仰ぐような所作を繰り返しながら太鼓を打ったりと、躍動感ある所作を見せます。

正会員一覧

都府県	市町村	民俗芸能名	保存団体名
岩手県	盛岡市	永井の大念仏剣舞	永井大念仏剣舞保存会
	北上市・奥州市	鬼剣舞	鬼剣舞連合保存会
秋田県	雄勝郡羽後町	西馬音内の盆踊	西馬音内盆踊保存会
	鹿角市	毛馬内の盆踊	毛馬内盆踊保存会
東京都	西多摩郡奥多摩町	小河内の鹿島踊	小河内の鹿島踊保存会
	新島村	新島の大踊	新島大踊保存会 若郷大踊保存会
神奈川県	足柄上郡山北町	山北のお峰入り	お峯入り保存会
新潟県	柏崎市	綾子舞	柏崎市綾子舞保存振興会
	魚沼市	大の阪	大の阪の会
山梨県	上野原市	無生野の大念仏	無生野大念仏保存会
長野県	下伊那郡阿南町	新野の盆踊	新野高原盆踊りの会
	佐久市	和合の念仏踊	和合念仏踊保存会
岐阜県	郡上市	跡部の踊り念仏	跡部踊り念仏保存会
	郡上郡	郡上踊	郡上踊保存会
静岡県	榛原郡川根本町	徳山の盆踊	川根本町徳山古典芸能保存会
	静岡市	有東木の盆踊	有東木芸能保存会
愛知県	豊田市	綾渡の夜念仏と盆踊	綾渡の夜念仏と盆踊り保存会
	伊賀市	勝手神社の神事踊	勝手神社神事踊保存会
滋賀県	草津市	近江湖南のサンヤレ踊り	草津のサンヤレ踊り保存協議会
	栗東市		小杖祭り保存会
	守山市、甲賀市、東近江市、蒲生郡竜王町	近江のケンケト祭り長刀振り	近江のケンケト祭り長刀振り連合保存会
京都府	京都市	京都の六斎念仏	京都六斎念仏保存団体連合会
		やすらい踊	やすらい踊保存団体連合会
		久多の花笠踊	久多花笠踊り保存会
兵庫県	南あわじ市	阿万の風流大踊小踊	阿万風流踊保存会
奈良県	吉野郡十津川村	十津川の大踊	十津川村小原・武蔵・西川大踊保存会
島根県	鹿足郡津和野町	津和野弥栄神社の鷲舞	弥栄神社の鷲舞保存会
岡山県	笠岡市	白石踊	白石踊会
	真庭市	大宮踊	大宮踊保存会
徳島県	三好市	西祖谷の神代踊	西祖谷神代踊保存会
	仲多度郡まんのう町	綾子踊	佐文綾子踊保存会
香川県	綾歌郡綾川町	滝宮の念仏踊	滝宮念仏踊保存会
	豊前市	感応楽	豊前感応楽保存会
長崎県	大村市	大村の郡三踊	黒丸踊保存会 沖田踊保存会
	大分県	国東市	吉弘楽
宮崎県	西臼杵郡五ヶ瀬町	五ヶ瀬の荒踊	荒踊保存会